

公益財団法人初年度事業計画

自 平成24年2月1日 至 平成24年9月30日

I. 展覧会

1. 第40回「日本の書展」直轄展

第39回展では、東日本大震災の影響で直轄4展とも開催披露レセプションが中止となったが、第40回展では復活し開催する予定。

また、開催披露レセプションの同日、パーティーに先立ち、第40回展を記念する記念講演会を直轄4展全展で併催する予定。講演会講師は、今年6月5日に当会会長兼理事に就任された外務省出身・元在スペイン大使の荒船清彦氏。当会の国際交流事業、「日本の書展」ロサンゼルス展やアルゼンチン展、スペイン展開催の際にも多大なるご尽力を頂いた。そうした国際交流における体験談や国際的見地からの日本の書についてなど、グローバルな講演をお聞かせいただく。

(1) 関西展

会 期 平成24年5月24日（木）～5月27日（日）

会 場 大阪国際会議場（3階イベントホール）

主 催 （財）全国書美術振興会 産経新聞大阪本社

後 援 文化庁（申請予定）

協 賛 （公社）日本書芸院

講演会 平成24年5月24日（木）11:00～

大阪国際会議場 10階 会議室1003

開催披露レセプション 平成24年5月24日（木）12:30～

リーガロイヤルホテル 3階 光琳の間

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約100点、ならびに、関西2府5県、山口県以外の中国4県、四国4県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(2) 中部展

第1会場

会 期 平成24年6月6日（水）～6月10日（日）

会 場 愛知県美術館ギャラリー（愛知芸術文化センター8階 展示室A B C D E F）

第2会場

会 期 平成24年6月5日（火）～6月10日（日）

会 場 名古屋市博物館（3階ギャラリー全8室）

第1会場・第2会場とも

主 催 （財）全国書美術振興会 中日新聞社

後 援 文化庁 愛知県 岐阜県 三重県 名古屋市
各県市教育委員会 東海テレビ放送（以上 申請予定）

協 賛 （社）中部日本書道会

講演会 平成24年6月6日（水）16:30～

名古屋東急ホテル 3階 バロックの間

開催披露レセプション 平成24年6月6日(水) 18:00～

名古屋東急ホテル 3階 ヴェルサイユの間

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約100点、ならびに、愛知県・岐阜県・三重県の3県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(3)東京展

会期 平成24年6月14日(木)～6月24日(日) 6月19日(火)は休館日

会場 国立新美術館(展示室1A・1B・1C・1D)

主催 (財)全国書美術振興会 共同通信社

後援 文化庁(申請予定)

講演会 平成24年6月14日(木) 11:00～

ホテルオークラ東京 本館1階 曙の間

開催披露レセプション 平成24年6月14日(木) 12:30～

ホテルオークラ東京 本館1階 平安の間

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約100点、ならびに、北海道・東北・関東甲信越・富山県・石川県・静岡県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。また、東京展会場には、関西展委嘱・中部展委嘱・九州展委嘱作品も展示する。

(4)九州展

会期 平成24年7月5日(木)～7月10日(火)

会場 福岡アジア美術館(7階企画ギャラリーABC・8階交流ギャラリー)

主催 (財)全国書美術振興会 西日本新聞社

後援 文化庁(申請予定)

講演会 平成24年7月5日(木) 16:30～

ホテルオークラ福岡 3階 チェルシーの間

開催披露レセプション 平成24年7月5日(木) 18:00～

ホテルオークラ福岡 4階 平安の間

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約100点、ならびに、九州7県・山口県・沖縄県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

2. 第40回「日本の書展」巡回展

会期 平成24年7月～平成25年4月

会場 地方都市10カ所で開催予定

主催 (財)全国書美術振興会 共同通信社 各地元新聞社

後援 文化庁(申請予定)

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約100点に、各地元から選出された作品を併せて展示する。

第40回「日本の書展」巡回展 実施予定会場一覧

| | 開催地 | | 地元主催新聞社 | 会場(予定) | 会期(予定) |
|----|-----|---------|-------------|------------------|------------------|
| 1 | 富山 | 富山市 | 北日本新聞社 | 富山県民会館美術館 | 24.7.12～7.16 |
| 2 | 鳥取 | 米子市 | 山陰中央新報社 | 米子市美術館(中止もある) | 24.8月中旬 |
| 3 | 栃木 | 宇都宮市 | 下野新聞社 | 福田屋ショッピングプラザ宇都宮店 | 24.8月下旬～9月上旬 |
| 4 | 青森 | 青森市 | 東奥日報社 | 青森市民美術展示館 | 24.9.5～9.11 |
| 5 | 広島 | 広島市 | 中国新聞企画開発 | 福屋広島駅前店 | 24.10月上旬 |
| 6 | 岡山 | 岡山市 | 山陽新聞社 | 天満屋岡山店 | 24.10月下旬 |
| 7 | 山梨 | 南巨摩郡身延町 | 山梨日日新聞社(後援) | 身延町なかとみ現代工芸美術館 | 24.12月中旬～25.1月中旬 |
| 8 | 奈良 | 奈良市 | 奈良新聞社 | 奈良県文化会館 | 25.1月下旬～2月上旬 |
| 9 | 長野 | 長野市 | 信濃毎日新聞社 | 長野県信濃美術館 | 25.3月上旬 |
| 10 | 茨城 | 水戸市 | 茨城新聞社 | 茨城県立県民文化センター | 25.4月中旬 |

3. 第40回「日本の書展」東京展 公募臨書

会期 平成24年6月14日(木)～6月24日(日) 6月19日(火)は休館日

会場 国立新美術館(展示室1Dの一部)

主催 (財)全国書美術振興会 共同通信社

後援 文化庁(申請予定)

2012年(平成24年)開催の第40回「日本の書展」東京展から、展覧会場となる国立新美術館を優先的に借館できる団体の条件として、“公募”が加わることになった。

そこで、第40回展以降もこれまで通り4室・約4000㎡を確実に借館するために、東京展の中に「公募臨書」の部を新設することが理事・評議員会で承認された。

平成23年5月中旬の第39回「日本の書展」関西展の立ち上げと同時に、「公募臨書」出品要項の公布を開始し、ホームページ等でも出品を募った。

平成23年10月1日～12月1日の2カ月間の出品受付期間を設けたところ、964点の出品があった。出品の内訳は別紙資料参照。

平成24年1月31日(火)には、審査委員12名(出品要項参照)による審査(鑑別)を国立新美術館審査室で行い、入選・落選を決定する。

入選作品のみ当会負担で表具を行い、国立新美術館1D会場の一部を使用して、第40回「日本の書展」東京展と同時開催で展示を行う。

II. 機関誌および書美術に関する出版物の刊行

1. 展覧会作品集の制作

(1) 第40回「日本の書展」

①巡回展図録(現代書壇巨匠・現代書壇代表・全展委嘱作品をオールカラー刷りで掲載)

②DVD(全作品:現代書壇巨匠・現代書壇代表・全展委嘱・全展招待・全展秀拔選をオールカラーで収録)

第40回展から、秀抜選の協賛費を4万円から3万円に減額した。これに伴い、経費削減のため、39回展まで巡回展図録・関西展図録・中部展図録・東京展図録・九州展図録の5分冊で作成していた図録のうち、巡回展図録のみは引き続き作成し、招待・秀抜選作品を含む全出品作品をDVD1枚に収録することに変更した。

出品者には巡回展図録とDVDのセット1組を贈呈し、展覧会場ではセット価格2,500円で販売する(単品販売はしない)。

2. 展覧会来場者配布用作品はがきの制作

現代書壇巨匠の作品をはがきに作成し、入場招待券を持参した来場者に1枚ずつ配布、集客効果を上げる。

3. 機関誌「書美術」の刊行

4. ホームページの更新

Ⅲ. 講演会・研究会等

書美術の振興のために、東京および各地で講演会、研究会を開く。

Ⅳ. 書美術功労者の顕彰

書美術の振興に功績のあった個人、団体を表彰する。

以 上